

宇佐市民図書館 2005.04

# 郷土スペース月報

〒879-0453 大分県宇佐市上田1017-1 TEL.0978-33-4600 FAX.0978-33-4679  
<http://www.usa-public-library.jp/>

◆今月の表紙 菊岡久利(きくおか・くり)著『詩集 貧時交』の扉。昭和11年1月20日、第一書房発行。当館所蔵。「横光さん」との献呈および署名があることから、菊岡久利本人から贈られた横光利一の旧蔵書であったと思われる。菊岡久利(明42〜昭45)は本名・高木陸奥男。筆名は、『貧時交』出版のとき、横光利一が命名。菊池寛の「菊」と横光利一の「利」をとったもの。他に詩集『時の玩具』(献題「横光利一先生に献ず」)や、戯曲『野鴨は野鴨』(「序」横光利一)などがある。



目次

- ◆今月の表紙・横光利一宛献呈署名入り菊岡久利著詩集『貧時交』の扉(昭11)
- ◆菊岡久利著『詩集 貧時交』序「横光利一」
- ◆龍膽・小野精一編「大分県人名辞典」本文編(35)
- ◆新着郷土資料目録・平成十七(二〇〇五)年三月

4 2 1

## 序

菊岡久利君の思想はまだ私には分らない。しかし、この人は思想よりも明瞭で根柢ある人物を持っている。これは容易ならぬことだと思ふ。私がこの人を尊敬する理由は、惑乱を防ぐ克己と、進退の鮮明と、表情の統一と、困苦おのれの物として掴んだことだ。この人の詩に於て、鮮麗な闘志が叙情となつて一貫しているところは近ごろ稀な詩集としている箇所と思ふ。

横光利一

菊岡久利著『詩集 貧時交』序

(第一書房・1936)

# 龍膽・小野精一編 大分県人名辞典 本文編 (35)

遺族から宇佐市に寄託された自筆原稿より、本文を順次紹介しています。  
収録人名一覧は、No.7(2000.10)～No.14(2002.5)に連載しました。

## えんがん

えんがん 円龜

円龜諱は昭覚豊後国田染郷の人。大神惟将の子なり。幼より器度人に優れ、仏陀の教を信じ、十四歳にして出塵し、相州寿福寺に寂庵上昭和尚を訪いて参禅し、夫より各地を遍歴し、興国七年、故郷に還り深山溪谷を跋涉し、豊前下毛郡に至り、大蔵窟を得、縦横若干丈中に千人を容るべし。石屏東に列い、石橋前に横へる。実天然の靈境あり。円龜自ら十六羅漢を描き、窟内に奉じ、普開窟と名づけ庵を岩下に結び、榜するに幻住を以てす。幾もなく、又、岩窟を隔てて智剛寺を建て、錫を移して静居す。正平十五年の春、雲樹の徒逆流建順偶来りて円龜に見ゆ。即ち建順を誘うて洞窟

に遊ぶ。一日順語て曰く。此窟は靈区実には羅漢棲真の処なり。聖像を彫刻し、窟中に安置せば、則ち永世の福田たらん乎と。円龜順と共に工伎に長ず。槌鑿一揮すれば妙相忽ちなり彩飾を加えんと欲すれば鑿に從つて丹護の類地より湧出す。既にして釈尊文殊普賢十大弟子二十八の応真半千尊者及侍衛の者都て七百余軀儀を殊にし貌を異にし、儼然として位に倚る。恰も衆星の満月を囲むが如し。正中十五年、冬十月、望日を以て慶讃供養し一千余員の僧を聚め聖福月堂禪師を請じ開導師となす。

美村信行寺に生まる。碩学知識に就学して宗乗を窮め、文化十三年、戸畑村満福寺の法嗣となる。天保六年、本山より得業を授けられ弘化元年には助教に進む。此年、中井竹山の草茅危言を毀すし、「角毛偶語」を著わす。本山出資して刊行した。安政三年司教より勸学に累進し、文久二年時事を慨し「把憂小言」を著わす。元治元年、本山より円成院という東世院号賜わつた。生前、院郷は前例なき出格の恩典である。同年、老を以て骸骨を請い、満福寺に帰える。明治六年寂す。享年八十四。著書多し。(偉人伝)

## えんせい いん・なんけい

円成院南溪

玖珠郡戸畑(今北山田)満福寺十一世の住職。名詢道、字伝灯。南溪谷は其号。寛政二年、筑前糟屋郡宇

## えんみょう いん・ぎょうせい

円明院行清

其父円明院観清が播州から小笠原侯に扈從して中津に来て以来、桜町の天満宮の社僧となり、代々連歌

の事に関し世襲的に藩の連歌に与っていた。観清、行清、文清、秀清と明治に至るまで継続した連歌の家筋であつた。今中津殿町に行清の建てた句碑とも称すべき灯籠が現存している。

元禄九丙子年十一月十八日 為

六親属頓生

菩提

雪に名は埋れぬ石の光哉

行清謹主

## エズーアルドガマ大佐

葡萄牙軍艦長。大友宗麟に謁し、葡国より通商の御礼として新式の大砲及火薬を献上したい、猶木綿の種子十袋をも併せて差上げたいと、宗麟之を徳となす。ガマ大佐西教宣伝にも便宜を与えられたいと、宗麟銃器火薬を豊後に限り送りくれという。がま大佐田原紹忍に猩々皮や

## おおい

おおい・けんたろう

大井憲太郎

(一八四三～一九二二)

黄金を献じ、宣教自由の補助を頼む。紹忍亦之を宗麟に従容し、た。彼聖者ザビエル豊後湾に入るやガマ之を迎えて宗麟に紹介した。ザビエルはガマ大佐を感悲して謁見した。(建勲史)

年、民選議員論起つや馬城豊二郎の名を以て加藤弘之と論争し、自由民権を唱え代言人となり、福島事件に令名を博し、十五年、立憲自由党に入り、あけぼの新聞に執筆し、貧民の為め気焰をあげ、十八年五月、朝鮮民主主義的改革、其独立を完うべく朴泳孝、金玉均を助け人と武器資金調達中逮捕され、重懲役九年に処せられたが二十二年大赦により出獄し二十三年自由党再建に与り二十五年には東洋自由党を組織し、労働者保護を標榜し、二

七年には代議士として当選し、三十年に亘り憲政会常議員となり、十二年、日本労働協会再興。然し無産階級運動に時代後れを感じたので南洋貿易を試みたが振るわず、大正十一年十月十五日、八十歳を以て歿した。(大典)

(一八〇四～一八七〇) 吳崎新田開拓事業三工首の一人。広島県加茂郡広村の人。文化元年生。嘉永二年、吳崎に來り、開墾の有望なるを見、農民を奨励し、共に此地に住し、開墾の事に努力し、移住者を鼓舞し、始ては甘藷の栽培を試作し漸次拡張し地方の一生産を興した。明治五年、病卒した。年六十八。(西国東郡誌)

明治の政治家。天保十四年宇佐郡高並村に生まる。長崎に出て蘭学を修め、大阪に出て紀藩士大井ト新の嗣子となり次で幕府の開成所舎密局に勤め、明治戊辰の役には幕軍に從い、東北の野に戦い、箕作麟祥に就きフランス学を修む。同六年陸軍省に出仕。八年元老院書記官。七

おおいし・とくまつ 大石徳松

バックナンバーは、  
郷土スペース(雑誌架)に  
ファイルしています。  
ご希望のかたには、  
中央カウンター(そうだん)で  
さしあげます。

## 新着郷土資料目録 平成17(2005)年【3月】

書名／人名／出版社／出版年(月)／請求記号／(備考)

- 臼杵市読書感想文コンクール入選作品集／臼杵市立図書館／2004.12／A019ウ／(寄贈)
- 宇佐市子ども読書推進プラン【ファイル入り】／宇佐市教育委員会／宇佐市／2005.1／A019ウ／(寄贈)
- 読書感想文・感想画コンクール 入選作品集／日出町／2005.2／A019ヒ／(寄贈)
- 宇佐市子ども育成支援行動計画／宇佐市福祉事務所／宇佐市／2005.3／A019ウ／(寄贈)
- 文集ばんり／日出町読書会連絡会／2005.3／A019ヒ／(寄贈)
- 大分県の歴史散歩／大分県高等学校教育研究会社会部会／山川出版社／1977／A290オ／(寄贈)
- 散策図鑑べっぷ／おおいたインフォメーションハウス／2004.2／A291.9オ／(購入)
- 大分県47町村の記録／大分県町村会／2005.2／A318オ／(寄贈)
- 安心院動物化石群／高橋啓一／琵琶湖博物館／2001.12／A457ビ／(寄贈)
- 環境白書 平成16年度／大分県生活環境部生活環境課／2005.2／A519オ／(寄贈)
- 零戦ウォッチング／野原茂／光人社／2005／A530ノ／(購入)
- 大分の酒蔵／江上真／おおいたインフォメーションハウス／2005.2／A588オ／(購入)
- 大分県文化財年報12／大分県教育委員会／2004.3／A709オ／(寄贈)
- 上野町遺跡・顕徳寺遺跡／大分県教育委員会／2004.3／A709オ／(寄贈)
- 大分の中世城館 第四集総集編／大分県教育委員会文化課／2004.3／A709オ／(寄贈)
- 大分の中世城館 別冊 総合索引／大分県教育委員会文化課／2004.3／A709オ／(寄贈)
- 上門出遺跡／大分県教育委員会／2004.3／A709オ／(寄贈)
- 杵築城下町遺跡／大分県教育委員会／2004.3／A709オ／(寄贈)
- 黒岩遺跡／大分県教育委員会／2004.3／A709オ／(寄贈)
- 玉沢地区条里跡／大分県教育委員会／2004.3／A709オ／(寄贈)
- 長湯横穴墓群／大分県教育委員会／2004.3／A709オ／(寄贈)
- 東大道遺跡(A地区)／大分県教育委員会／2004.3／A709オ／(寄贈)
- 久末京徳遺跡／大分県教育委員会／2004.3／A709オ／(寄贈)
- 陽だまり／森一枝／朝日新聞出版サービス／2005.2／A913モ／(寄贈)
- 知覧特別攻撃隊／村永薫／ジャブラン／1989／A916ム／(寄贈)
- 特攻基地知覧／高木俊朗／角川書店／1995／AB916タ／(寄贈)